

中山間農業研究所中津川支所

令和3年度 試験研究中間検討会資料



©岐阜県

清流の国ぎふ

〒508-0203 岐阜県中津川市福岡1821-175
TEL 0573-72-2711 FAX 0573-72-3910
研究所ホームページ <http://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>



【花きの部】

中山間地域の新たな花きブランドの開発

【担当/服部 哲也】

【研究目的】

近年、鉢花の消費が低迷傾向である中で、特徴のある商品(品目・品種)は高い評価があります。

このため花業界からは、新たな商品として需要が見込まれる新しい花き品目、品種の開発が望まれています。

そこで、中山間地域の気候を活かせる耐寒性 宿根草の新品目、当所オリジナルシクラメン品種「ムーンレージュ」に続く黄色系や極小輪系の新品種を開発するとともに、栽培マニュアルを作成します。



図2 耐寒性宿根草の有望品目の交配実生養成の様子



図1 アキギリ新品種の開花期の様子



図3 シクラメン選抜系統の栽培の様子

A I を活用した切花フランネルフラワーの出荷予測・開花調節技術の開発

【担当/服部 哲也】

【研究目的】

フランネルフラワーは県の主力品目であり、特に切花は生産量と販路拡大に向け、年間を通じた安定出荷が求められています。そのためには、正確な出荷予測技術と開花調節技術を開発し、県内産地全体でのルー出荷が不可欠です。一方、中山間地の作型は、平坦地で出荷が困難な時期での生産が期待されていますが、最適な栽培方法が確立されていません。

そこで、農業技術センターと連携し、出荷予測及び開花調節を支援する技術開発と、この社会実装を行うアプリケーションを開発します。併せて、中山間地域の生産に最適な作型・栽培方法を明らかにします。



図4 C型鋼を活用した切花用フランネルフラワーの栽培の様子